

平成 18 年度契約実績速報！

～ 事業開始以来の最高加入実績獲得（共済金額 3,960 億円）～

平成 18 年 4 月にスタートした新全国推進運動「浜を守る！ぎよさい総加入運動」では、「ぎよさい」でつなぐ明日の漁業をスローガンに、1.「漁業の主要な担い手の全員加入」、2.「真に経営安定に役立つための補償力のアップ」を目標に掲げて、運動初年度の推進活動を行ってきました。

この結果、水揚金額の減少等に伴う自然減や休廃業に伴う契約の脱落等がある中で、全国各地で新規契約等（新規契約 157 億円、契約割合引上 114 億円）が実現し、共済金額 3,960 億円（対前年比 102%、同 73 億円増）と、これまでになかった加入実績を達成することが出来ました。

運動初年度の加入増の背景には、災害に対して自己責任が叫ばれる中で、掛金助成の面からは優良漁業者の加入促進策として 18 年度より予算化された「漁業共済基盤強化事業」による効果や、行政庁及び漁協系統団体によって「ぎよさい」を経営安定対策の柱のひとつとして盛り上げて頂いた結果だと思っております。

一方、支払については 112 億円の共済金支払（対前年比 78%、同 32 億円減）となりました。そのうち特に大きな漁業被害としては秋鮭定置漁業の盛漁期から年明けにかけて何度も発生した大型低気圧による定置網や養殖施設の損壊等が挙げられますが、その被害に対して約 13 億円の共済金が支払われました。

近年の漁業被害を見ますと、16 年度は 10 個もの台風上陸に伴う被害、17 年度は大型クラゲによる漁業被害、18 年度は低気圧被害と毎年何らかの漁業災害が発生し、このような被害に「ぎよさい」は少なからず貢献してきております。

これらの災害等に対して「ぎよさい」がセーフティネットのひとつとして十分に機能できるよう普及推進させていく所存ですので、関係各位の皆様におかれましても、運動 2 年目となる 19 年度も引き続き「ぎよさい」へのご支援・ご協力をお願いいたします。

（平成 19 年 4 月 15 日 運動情報版より）